

2011 年 7 月 6 日

興和株式会社

株式会社日立ソリューションズ

興和と日立ソリューションズが試験のコンピュータ化事業で協業 国家試験として初の CBT 方式による「IT パスポート試験」から運用開始

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：三輪芳弘／以下、興和）と株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：林雅博／以下、日立ソリューションズ）は、試験をコンピュータで実施する（CBT：Computer Based Testing）事業で協業し、経済産業大臣が認定する情報処理技術者試験の「IT パスポート試験」において、2011 年 11 月から CBT 方式によるシステム構築・運用・保守を行っていきます。

CBT 方式とは、データベース化した試験問題を、インターネットなどを利用して試験会場へ配信し、コンピュータ上で試験問題の出題、解答、採点などを行うもので、試験結果は、試験終了と同時に確認することができます。これまでのペーパー試験に比べて、答案用紙の回収や採点など試験運用にかかる業務を効率化することができ、試験問題や答案用紙を試験会場へ送付する必要がなくなるため試験問題の情報漏えいを防止できます。また、受験場所や開催日時の設定の自由度が増すため、柔軟な受験機会の提供が可能になることから、IT 系の資格認定試験を中心に急速に普及してきているところです。

情報処理技術者試験を実施する独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、受験者の利便性向上を目指し、「IT パスポート試験」において国家試験初の試みとなる CBT 方式の導入を進めてきました。そのような中、興和と日立ソリューションズは、興和の大手 ERP ベンダーの認定試験運用などで培った CBT に関する実績や日立ソリューションズの IT システム全般のシステム構築に関する実績を生かし、2011 年 11 月の CBT 方式による「IT パスポート試験」の本番開始にあわせて、これまでもリハーサル試験などの業務を共同で推進してきました。

興和と日立ソリューションズは、今後も、現在ペーパー試験を実施している団体・企業などに向け、CBT 方式の試験運営に関するシステム構築・保守・運用サポートを提供していきます。

■ 興和と日立ソリューションズの CBT 事業の特長

1. 高いセキュリティシステムを実現
2. 全国規模での会場確保と試験実施
3. 国産の独自アルゴリズムによる出題を実現

興和と日立ソリューションズは、7 月 7 日から東京ビッグサイトで開催される「第 2 回教育 IT ソリューション EXPO」の e ラーニングワールド内の共同ブースにおいて、「IT パスポート試験」の CBT 体験コーナーを開設します。

URL： <http://www.edix-expo.jp/>

■ CBT 方式による「IT パスポート試験」の画面例

Copyright (c) IPA, Japan. All rights reserved 2011

<本件に関するお問い合わせ先>

■ 興和株式会社

担当部署：システム事業部 CBTサービス部 担当：倉地

Tel : 03-5220-6731 Fax : 03-3216-7553

URL : <http://www.kowa.co.jp/cbt/>

■ 株式会社日立ソリューションズ

URL : <https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

Tel : 0120-571-488

<報道機関からのお問い合わせ先>

■ 興和株式会社

担当部署：広報第二部 担当：伊藤、加地

Tel : 03-3279-7392 Fax : 03-3279-7250

■ 株式会社日立ソリューションズ

担当部署：コーポレート・コミュニケーション本部 広報・宣伝部 担当：榎田、廣納（ひろのう）

Tel : 03-5479-5013 E-mail : koho@hitachi-solutions.com

※ 画面はイメージです。今後、変更になる場合があります。

※ IT パスポートは、独立行政法人情報処理推進機構の登録商標です。

※ その他記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。